

2011年度 明治学院大学 心理学部公開講座

東日本大震災後の 社会と心理学

— 家族と子どもたちの未来 —

「ここを探り、人を支える」をコンセプトとする明治学院大学心理学部では、毎年、公開講座を開催いたしております。今年度は、2011年3月11日に発生した東日本大震災後の社会の中で心理学はどのような課題に取り組んでいく必要があるのか、特に、震災後の家族と子どもたちにとって心理学はどのような役割を果たすことができるのか、考える機会として公開講座を実施させていただくことといたしました。

年度末のお忙しい時期とは存じますが、皆様、どうぞふるってご参加いただきますようお願い申し上げます。

日時

2012年
3月3日(土)

3月12日(月)

場所

明治学院大学白金キャンパス
本館 1201 教室

明治学院大学白金キャンパス
本館 1101 教室

内容

震災後の子育て支援
— 心理学に求められること —

東日本大震災後の家族
— 心理学に求められること —

- 事前申込不要 当日お気軽にお越しください。
- 入場料無料

問合せ先

明治学院大学心理学部共同研究室

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Tel : 03-5421-5522 Fax : 03-5421-5523

e-mail : psycho@psy.meijigakuin.ac.jp

主催/後援：明治学院大学 心理学部

Do For Others
150th
Anniv.

プログラム

3/3 (土) 「震災後の子育て支援 ―心理学に求められること―」

13:30 開場

14:00 開演

講演 「震災後の子育て支援の現状と今後の課題 ―山形における実践から―」

野口比呂美 先生 (NPO法人やまがた育児サークルランド代表)

サークル・NPO支援、育児情報提供、保育、女性の人材育成、調査研究などの活動を20年来展開。NPO法人子育てひろば全国連絡協議会副理事長。震災後、山形には主に福島からたくさんの子育て家庭が避難してこられました。父親と離れて暮らす母子世帯が多く、子育て支援の必要性が高い家庭であるため、地域の子育て団体がいち早くその支援に取り組んできました。その活動の概要を報告し、子育て支援の活動と、心理学との連携や協働について考える機会にしたいと思います。

〈質疑応答〉

16:50 閉会

3/12 (月) 「東日本大震災後の家族 ―心理学に求められること―」

14:30 開場

15:00 開演

講演 「大震災後の家族の現状と課題 ―私たちにとって家族とは―」

団 士郎 先生 (仕事場D・A・N主宰 立命館大学大学院教授)

児童相談所などでの子どもと家族への支援に25年間携わった後に現職。主な著書「家族の練習問題」(ホンブロック)。東日本大震災は、被災地に暮らす人たちのみならず、私たちが家族の存在や自分と家族との関係について改めて考え直すきっかけとなりました。「家族」をキーワードに、いろいろなことを考える時間にしたいと思います。

〈質疑応答〉

16:50 閉会

案内図



最寄駅からのアクセス

- 品川駅から
[JR 山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線・東海道新幹線 / 京浜急行線]
高輪口より都営バス「目黒駅前」行き「明治学院前」下車
※徒歩約17分
- 目黒駅から
[JR 山手線 / 東急目黒線 / 東京メトロ南北線 / 都営地下鉄三田線]
東口より都営バス「大井競馬場前」行き「明治学院前」下車
※徒歩約20分
- 白金台駅から
[東京メトロ南北線 / 都営地下鉄三田線]
2番出口より徒歩約7分
- 白金高輪駅から
[東京メトロ南北線 / 都営地下鉄三田線]
1番出口 (目黒駅側 / エレベーター有) より徒歩約7分
- 高輪台駅から
[都営地下鉄浅草線]
A2番出口より徒歩約7分